MEIJI MACHINE

平成 29 年 11 月 6 日

各　位

会　社　名　明治機械株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　中尾　俊哉
（コード番号　６３３４　東証第二部）
問い合せ先　取締役総務部担当　　榎　隆
（TEL．03－5295－3511）

太陽光発電事業における「接着架台工法（エスノンホール）」を用いたＥＰＣ事業の開始に関するお知らせ

当社の太陽光発電事業におきましては、主に、ＥＰＣ事業（設計・調達・建設を一貫して行う事業）と、本年新たに参入したディベロップ事業（一般投資家向けの投資商品としての太陽光発電設備区画分譲販売）を柱に事業展開してまいりましたが、この度、平成 29 年 11 月 6 日より屋根用太陽光発電設備向けの接着架台工法「エスノンホール」を用いたＥＰＣ事業を開始いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．接着架台工法「エスノンホール」について

当社は、需要が増加しているＩＴ企業や製造業等が推進する消費電力の自然エネルギー１００％活用（ＲＥ１００）のニーズに応えるため、工場及び倉庫、ビルの屋上への太陽光発電パネルの設置にあたり、既存の屋根に穴を開けない新たな接着架台工法（エスノンホール）を用いたＥＰＣ事業を開始いたします。

当社は、この新しい画期的な施工方法を活用することにより、今後、多くの屋根上・屋上の太陽光パネル設置の需要に対応することにより、受注・売上の拡大が見込まれ、今後の太陽光発電事業におけるＥＰＣ事業の拡大ならびに収益の拡大に寄与するものと考えております。

２．「エスノンホール」の特長について

①施工時に穴開け不要

既存の屋根に穴を開けず、接着剤による接着架台工法となるため、雨漏りのリスクが低減されます。主に、折板屋根や陸屋根等に施工可能となります。但し、材質によっては施工できない場合があります。

②架台は、「ステンレス製」を採用

ＳＵＳ４４３Ｊ１を使用した架台を採用することにより、耐蝕性と軽量化を実現しました。沖縄での大気暴露試験ではＳＵＳ３０４より優れた耐蝕性を示しています。

③南向き施工が可能

屋根の流れに影響を受けないモジュール配置が可能となり、真南向きに施工することにより、発電量が最大で約１５％アップします。

④その他

低圧や高圧の容量を問わない幅広い施工が可能となり、重荷重に対しては、屋根に接着する受け部材を増やして荷重を分散することが可能です。また、従来の工法に比べて約２５％の工数削減と工程の短縮が可能です。「エスノンホール」は、現在、商標登録申請中です。

３．接着剤について

「エスノンホール」に使用する接着剤については、セメダイン社製の接着剤を採用し、以下の特徴が挙げられます。

①耐久性に優れた弾性系接着剤
②幅広い材料への優れた接着性
③作業性に優れた１液常温硬化型
④優れた低音硬化性
⑤硬化速度の速い速硬化製品
⑥作業者に優しい無溶剤・低臭気型

本接着剤を使用した耐久性実験の結果、長期実績、長期熱劣化の傾向も 50℃の環境下で７年後でもほとんど強度の低下が認められません。仮に本接着剤の使用環境が、夏場３ヶ月のうち日中６時間が８０℃に該当すると想定した場合、本実験での７年間はその１６倍相当、すなわち１１２年の耐久性に相当すると考えることができます。

４．開始時期

平成 29 年 11 月６日

５．販売目標

中期的な事業規模として年間売上高５億円を目標としております。

６．施工写真（参考）






【「エスノンホール」の問い合わせ先】
太陽光発電事業部　ＥＰＣ事業グループ　部長　加藤毅彦
（ＴＥＬ　03-5295-3521）

以上